

熊本高専 情報系強化へ

来年度から八代にも新コース



熊本高等専門学校は28日、情報技術分野の人材不足に対応するため、熊本キャンパス（合志市）の全3学科を改組すると発表した。八代キャンパス（八代市）の全3学科にもそれぞれ新コースを設ける。いずれも2026年度から。

熊本キャンパスは、現在の3学科を「電子情報通信工学科」「知能制御情報工学科」「情報工学科」に改組する。ソフトウェアやア

熊本高等専門学校の学科改組や人材育成について説明する高松洋校長。28日、熊本市中央区

プリなど、さまざまな分野の情報技術を開発できる人材の育成に取り組む。定員をそれぞれ3人増やす。全学科で新たに「AI応用」「データ解析」といった専門科目も学ぶ。

八代キャンパスは、機械系、建築土木系、生物化学系の3学科にそれぞれ情報分野の新コース（定員各7人）をつくる。従来の専門分野に加え、情報技術を活用できる人材を育てる。

熊本県庁で会見した高松洋校長は「情報系人材は不足しており、国を挙げて増やす方針だ。日本の将来に必要な人材を育成していきたい」と話した。

八代は8月2日、熊本は同3日にオープンキャンパスを開く。（上野史央里）